



今日から風呂でもEM生活！ EM ゆうきボールで健康に！！

2011年冬に新発売した「EM ゆうきボール」。

身体を冷やすと様々な健康トラブルが発生する事はよく知られています。

身体を温めるにはお風呂がイチバン！

ゆったりお風呂タイムに使える「EM ゆうきボール」の開発者、

佐藤實さん（新潟県阿賀野市バランス1代表）にお話を伺いました。



EM ゆうきボールとの出会い

EM ゆうきボールの着想を得たのは、銭湯でした。露天風呂の隅でお湯につかり、日頃の疲れを癒している時のことです。その露天風呂にある大きな鬼の像が目に入ってきました。ふと、その鬼に「お〜、いい風呂の入り方してるな〜」と言われた気がしたんです（笑）。こんなことを言うとは思議がられてしまいますが、本当にそんな気がしたんです。どんな入り方をしていたかという点、肩までお湯につかり、風呂の枠に両手を置いていました。

ひょっとしたら、この体勢はとても健康にいい風呂の入り方なのかもしれないと思ひ、



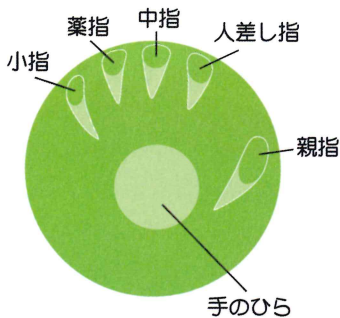
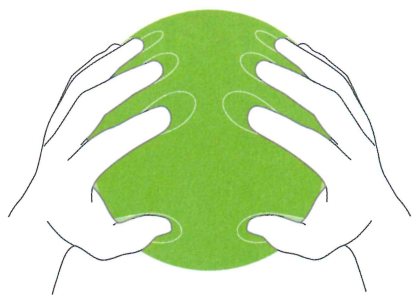
手を出してお風呂に入れるような商品をつくることにしました。試行錯誤を繰り返す中でこの形にたどり着いたんです。

EM ゆうきボールとEM・XGOLDトリオでみんな元気に

EM（有用微生物群）を理解する上で必要なのは、「共鳴」「吸収」「放出」「現象」という概念だと思っています。EM をある環境に投入、散布すると、他のいい微生物が「共鳴」し、悪いものを「吸収」して、いいものを「放出」という「現象」が起こる。EM は土壌をよくするだけでなく、海や河川をキレイにしたり、災害現場で活躍したり、また、今福島で起っている問題や健康問題に関しても、解決の光を照らしてくれるものです。

私は探究心が強いので、常に、「本当にそうなのか？」という疑問をもって生きています。EMに出会って23年になりますが、いまだにEMに対して、いい意味で疑問を持ち続けています。EM関連商品の販売もしていますが、このEM ゆうきボールを試したお客さんは、みんな健康になっているんです。EM ゆうきボールとEM・XGOLD、EM 蘇生海塩GOLD、EM 蘇生ミネラルGOLDの組み合わせによって、鈍行であつた健康に向かう力が、超特急になったような感じですね。私自身、2週間ほど自分の思うように動けませんでした。これらの組み合わせによって、今は元気に活動できます。

健康に良いお風呂を楽しく!
心も体も簡単リフレッシュ!!



丸いくぼみに両方の手のひらをあてるようにして、周辺の5つのくぼみにそれぞれの指を添えて使います。使用しないときは、丸いくぼみを下にすれば、転がらずに置くことができます。

EMゆうきボール 3,800円(税込)

●材質/本体:ポリエチレン ④ 空気弁:シリコンゴム
④ 本体の一部にエンバランス加工をしています。

※お求めはお近くのEM取扱店まで。



EMに対しても常に「？」をもっている私だからこそ、EMゆうきボールの体験談には「なぜこうなるのか」「どうやって説明ができるのか」を研究しました。

そこで偶然知ったのがヒートショックプロテイン(HSP)です。体を温めることで誰もがもっているHSPが働き、身体の自己修復作業ができるということでした。ある健康番組や書籍でも話題になって、やはり、

探究心と偶然により知ったHSP

身体を温めるにはお風呂が一番だということです。開発当初、そんなことは全く知らなかったのですが、「みんなが健康になった理由はこれだ!」と直感的に思いました。

EMゆうきボールをもつてお風呂に入ると、手首が湯から出るため、のぼせにくく、エンバランス加工されているので、お湯も活性化します。ゆっくりお風呂に入ることができるので、長風呂が苦手な方にもおすすめです。

佐藤さんのびっくり
EM現象!!



↑佐藤さんの指導のもと、pH3.5以下の良質なEM活性液を使用し続けて栽培したピーマンの断面図(ヘタの部分)。笑顔のピーマンです。



←pH3.5を守り切れずにEM栽培をしたピーマン。顔には見えるものの、笑顔には見えませんでした。



EMできちんと栽培されたお米(左)と、農薬や化学肥料を使って栽培されたお米(右)。12年前の物ですが、EM栽培されたものは、きちんと米粒が残っています。

開発者おすすめのEM的! 健康入浴法

1. 入浴中の脱水症状を防ぐため、入浴前にコップ1杯の水に10ml程度のEM・X GOLDと小さじ1杯程度のEM蘇生海塩GOLDを入れて飲む。
2. EMゆうきボールを持ちながら、肩までつかり、42度のお湯に10分間入浴。
※41度で15分または40度で20分でもOK。
3. 入浴後、ガウンを着たり毛布をかぶったりして体温が下がらないように保温する。EMの5本指ソックスや腹巻きを着用しても◎。
4. 大量に汗をかくので、入浴後にもEM・X GOLDやEM蘇生海塩GOLDを入れた水を補給する。
5. この入浴法を1週間に2回繰り返す。



【注意】

- 冬場は浴室が寒いので、熱めのシャワーで浴室内をあたため、身体も心臓に近い所からお湯をかけていきましょう。
- 熱いお湯が苦手な方は無理をせず、休憩をとりながら入ってください。

ヒートショックプロテイン(HSP)とは?

HSP(Heat Shock Protein)とは、ストレス防御タンパク質と訳され、白血球の一部(T細胞)の中にもあると言われているタンパク質の一種です。体温が38度以上になると働き出すと言われています。細胞はほとんどタンパク質でできていますが、ストレスや活性酸素、pHの変化、放射線などにより傷つきます。その修復作業の一環を担っているのがHSPと考えられ、近年医療分野でも研究が進められています。